

体育科学学位プログラム 身体教育・健康教育コース（博士前期課程）								
養成する人材像	<p>体育スポーツに関する幅広い学識ならびに専門知識を習得し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者ならびに体育スポーツに関する専門知識と研究能力をもった高度職業人を養成する。特に、身体教育学および健康教育学に関する体系的知識を修得し、教育現場における課題を科学的かつ実践的に分析し解決する能力を養成する。</p>							
教育研究の特徴	<p>あらゆる分野で証拠に基づく実践が求められています。このことは、身体教育・健康教育分野においても例外ではありません。加えて、教育現場からは実践力を有する保健体育教諭、養護教諭の養成が求められています。そのため、本コースでは、身体教育学、体育科教育学、健康教育学、保健科教育学、教育生理学、学校保健学、公衆衛生学、養護教諭学、インクルーシブ体育、教師教育学、教育心理学、学校制度学等といった研究領域をカバーし、その基礎から応用までを幅広くかつ高度に学究できるカリキュラムを用意しています。</p> <p>なお、本コースには、修士（体育科学）の取得を目指す学位プログラムと修士（体育実践学）の取得を目指す学位プログラムが設定されており、それぞれの研究成果を前者は修士論文、後者は実践課題学期小論文としてまとめます。</p>							
修了後の進路	後期課程への進学／中学校・高等学校教諭（保健体育）／養護教諭／専門学校教諭など							
年次・学期	1年次				2年次			
科目区分	前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目（必修）	身体総合学術論	2						
研究群共通科目（必修）	研究報告演習Ⅰ	2			研究報告演習Ⅱ	2		
基礎科目（選択）	身体教育学特論	2			授業づくり特論A	2		
	健康教育学特論	2			授業づくり特論B	2		
	教育生理学特論	2			授業づくり特論C	2		
	公衆衛生学特論	2						
	養護教諭特論	2						
	インクルーシブ体育特論	2						
他学位プログラム・コース科目								
専門科目（選択）			身体教育学特論演習	2				
			健康教育学特論演習	2				
			教育生理学特論演習	2				
			公衆衛生学特論演習	2				
			養護教諭特論演習	2				
			インクルーシブ体育特論演習	2				
研究指導科目（必修）	体育科学研究Ⅰ	1	体育科学研究Ⅱ	1	体育科学研究Ⅲ	2	体育科学研究Ⅳ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 4単位</p> <p>(3) 基礎科目: 所属コースの科目から8単位以上</p> <p>(4) 専門科目: 所属コースの科目から2単位以上</p> <p>※研究指導教員が担当する科目は必ず選択する。</p> <p>(5) 基礎科目及び専門科目を合わせて18単位以上</p> <p>※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる。</p> <p>(6) 研究指導科目: 体育科学研究Ⅰ～Ⅳの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>							
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。							
その他の学修・研究			学会発表		中間発表会 学会発表		修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会	